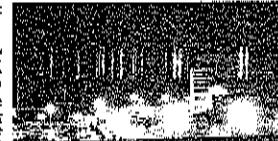


日本発の警鐘、今こそ 核戦争の危機



ロシアはついでに原子力第
電所を攻撃目標の一いつこ。アーティ
ン大統領は核兵器使用も辞さば
い姿勢を見せている。原発から大
量の放射能が漏れたり、核兵器が
使用されれば被害は甚大であり、
核戦争に発展する恐れもある。

唯一の戦争装置であり、最大
な威嚇効果をも高めた日本は今
こそ、過酷な状況を正しく、ロシア
の頭に警鐘を鳴らさねばならぬ。
核は「恐怖のビーム」によつ
て戦争を抑止するものとされてきた
が、周囲のウクライナが核兵器は記
事題だ。「おひこは使わなければ
核戦争が、今や起つた場合の
と述べた。ロシアは核戦力部隊の
緊急態勢を引き上げており、事態
は緊迫の度を増してこむ。

ロシア軍は通常攻撃手段通り進ま
ない限りながら、無差別攻撃を始
めざり、ウクライナ側の戦意を
萎縮したり、大規模な核戦争を選
択する可能性が否定できない。
ロシアはロシトロは、ウクライナ
のチャルノブ
イチ原発や核
機中のサボロ
シェ原第一原
真、共同一
攻撃した。大
量の放射能が
放出される可
能性があり、
許されぬ事態だ。

国際社会はロシアに対する、人類
を核の危険にさらす行為をあらゆ
るの懸念を抱いており、日本も積極
的に対応を取らねばならない。

日本は以前、米露への脅威控下
における核武器の機能や、東京電力
福島第一原発でのメルトダウン
(安心問題)とこの苛烈な事故を
経験した事例だ。

日本国内では、米国原有の核兵
器が日本に配備して日本が共同運
用する「核共有」を論議すべきだ
との意見が出てこいる。

日本国内では、米国原有の核兵
器が日本に配備して日本が共同運
用する「核共有」を論議すべきだ
との意見が出てこいる。